

20年度第3四半期 決算説明資料

2021年1月
株式会社タダノ

Tadano Ltd.

<注意事項>

- 本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。
- 2019年7月31日にDemag事業の買収が完了いたしました。本資料における19年度Demag事業の取り扱いは以下の通りです。
 - ・19年度連結財務諸表：貸借対照表（12月末）、損益計算書（8～9月）を含んでおります。
 - ※PPAによる影響を加味し遡及修正しております。PPAとは、Purchase Price Allocationの略で、資産・負債を公正価値評価/配分する手続きです。

- ✓ 売上減少に加え、Demag製品を中心とした製品構成の変化により、売上原価率は悪化し、第3四半期として、10年度以来10年ぶりの営業損失
- ✓ 排ガス規制関連損失引当金繰入及び投資有価証券評価損を特別損失に計上

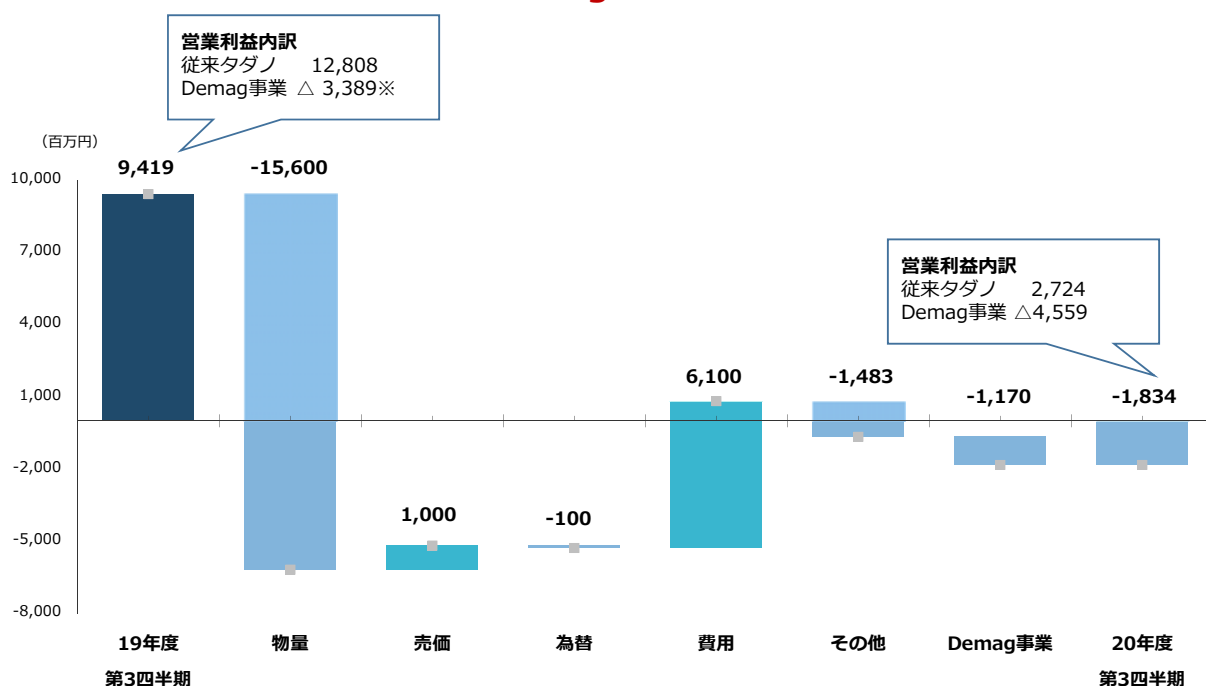
(単位：百万円)

	19年度第3四半期		20年度第3四半期		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	148,877	100%	132,543	100%	-16,333
売上原価	110,846	74.5%	105,957	79.9%	-4,889
割賦販売利益	-27	-0.0%	69	0.1%	96
売上総利益	38,002	25.5%	26,654	20.1%	-11,347
販管費	28,583	19.2%	28,489	21.5%	-93
営業利益	9,419	6.3%	-1,834	-1.4%	-11,254
営業外損益	-651	-0.4%	-500	-0.4%	150
経常利益	8,768	5.9%	-2,335	-1.8%	-11,103
特別損益	679	0.5%	-4,953	-3.7%	-5,633
税引前当期純利益	9,447	6.3%	-7,289	-5.5%	-16,736
法人税等	3,658	2.5%	348	0.3%	-3,310
非支配株主当期純利益	4	0.0%	30	0.0%	25
親会社株主当期純利益	5,783	3.9%	-7,668	-5.8%	-13,452

2

営業利益増減要因

- ✓ 費用は削減するも、物量の減少・Demag事業連結により112億円減少



※Demag事業△3,389は8～9月の実績（PPAによる遡及修正の影響△1,179含む）

3

- ✓ 売上債権は減少、たな卸資産は横ばい
- ✓ コロナ禍長期化への備え（手許資金と有利子負債が増加）

(単位：百万円)

	19年度末	20年度 第3四半期	比較 増減		19年度末	20年度 第3四半期	比較 増減
手許資金	57,075	83,820	26,744	仕入債務	40,745	30,525	-10,220
売上債権	63,267	37,891	-25,375	有利子負債	63,035	84,134	21,098
たな卸資産	97,434	98,221	787	その他	49,320	45,012	-4,307
その他	9,415	5,272	-4,142	負債計	153,102	159,672	6,570
流動資産計	227,192	225,206	-1,986	純資産計	158,158	149,252	-8,906
有形固定資産	68,433	68,522	88	負債・純資産計	311,260	308,924	-2,336
無形固定資産	1,675	1,657	-17				
投資その他の資産	13,958	13,538	-420				
固定資産計	84,067	83,717	-349				
資産合計	311,260	308,924	-2,336				

	19年度 第3四半期	19年度	20年度 第3四半期
売上債権回転期間	71.2日	88.1日	78.6日
たな卸資産回転期間	167.0日	135.6日	203.8日
自己資本比率	44.4%	50.5%	47.9%

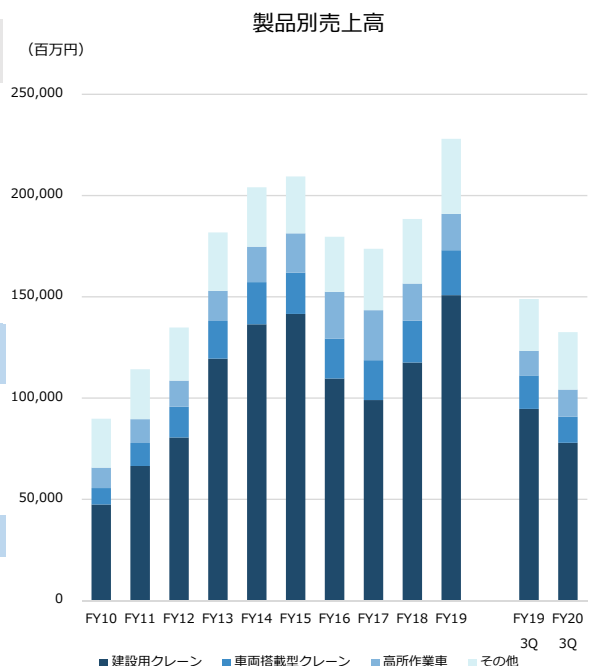
- ✓ 建設用クレーンと車両搭載型クレーンは減少、高所作業車は横ばい

(単位：百万円)

	19年度 第3四半期	20年度 第3四半期	比較増減 金額	増減率
建設用クレーン	94,646	77,926	-16,719	-17.7%
車両搭載型クレーン	16,549	14,085	-2,464	-14.9%
高所作業車	12,108	12,198	90	0.7%
その他	25,573	28,332	2,759	10.8%
合計	148,877	132,543	-16,333	-11.0%

建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高				
	19年度 第3四半期	20年度 第3四半期	比較増減 金額	増減率
日本	30,260	24,161	-6,098	-20.2%
海外	64,385	53,764	-10,620	-16.5%
合計	94,646	77,926	-16,719	-17.7%

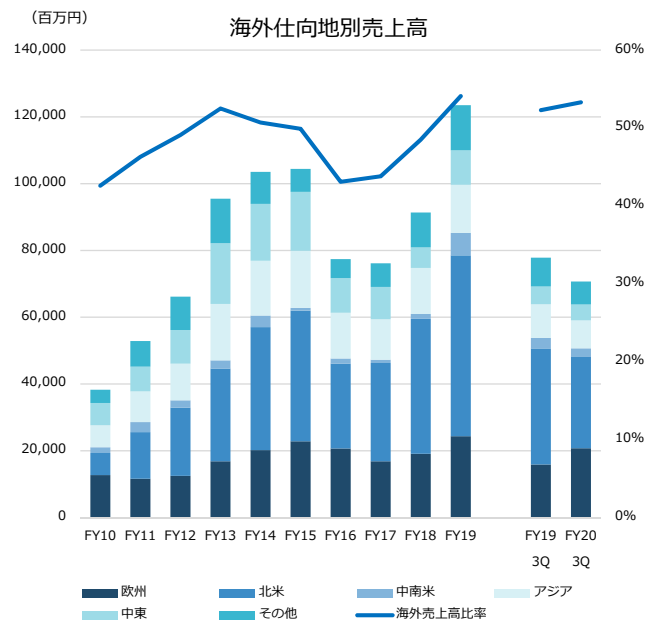
為替レート		
	※1-9月期中平均レート（海外子会社は12月決算のため）	
USD	109.15	107.59
EUR	122.66	120.90



✓ Demag事業連結により欧州は増加、それ以外すべての地域で売上は減少

(単位：百万円)

	19年度 第3四半期	20年度 第3四半期	比較増減	
			金額	増減率
欧州	15,890	20,768	4,878	30.7%
北米	34,756	27,495	-7,261	-20.9%
中南米	3,137	2,418	-719	-22.9%
アジア	10,097	8,363	-1,734	-17.2%
中東	5,327	4,775	-552	-10.4%
その他	8,620	6,870	-1,749	-20.3%
小計（海外計）	77,831	70,692	-7,138	-9.2%
日本	71,046	61,850	-9,195	-12.9%
合計	148,877	132,543	-16,333	-11.0%
海外売上高比率	52.3%	53.3%		



20年度予想

(単位：百万円)

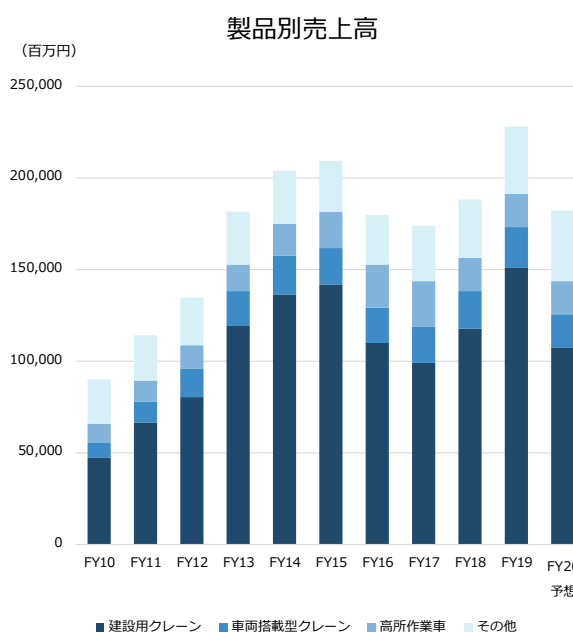
	20年度業績予想 (10月30日)		20年度業績予想 (1月29日)		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
売上高	182,000	100%	182,000	100%	—	—
営業利益	-4,700	-2.6%	-4,700	-2.6%	—	—
経常利益	-6,200	-3.4%	-6,200	-3.4%	—	—
親会社株主当期純利益	-7,900	-4.3%	-10,900	-6.0%	-3,000	—

排ガス規制関連損失引当金繰入の特別損失計上にとともに、2020年10月30日発表の2021年3月期通期連結業績予想について、上記の通り修正いたします。詳細につきましては、2021年1月29日に公表しました「米国排ガス規制の緩和措置違反（経過開示）と特別損失の計上ならびに2021年3月期の業績予想の修正について」をご参照ください。

20年度製品別売上高予想

(単位：百万円)

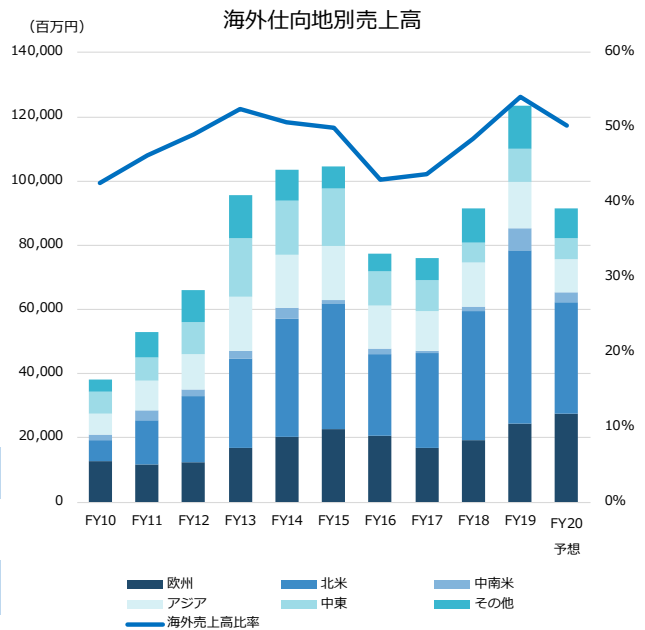
	19年度	20年度 予想	比較増減	
			金額	増減率
建設用クレーン	150,818	107,300	-43,518	-28.9%
車両搭載型 クレーン	22,162	18,400	-3,762	-17.0%
高所作業車	17,986	18,200	214	1.2%
その他	36,982	38,100	1,118	3.0%
合計	227,949	182,000	-45,949	-20.2%
建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高				
日本	47,833	38,200	-9,633	-20.1%
海外	102,984	69,100	-33,884	-32.9%
合計	150,818	107,300	-43,518	-28.9%



※上の表とグラフにおける19年度Demag事業の取り扱いとは8月～12月となります。

(単位：百万円)

	19年度	20年度 予想	比較増減	
			金額	増減率
欧州	24,363	27,500	3,137	12.9%
北米	54,163	34,900	-19,263	-35.6%
中南米	6,735	3,000	-3,735	-55.5%
アジア	14,401	10,400	-4,001	-27.8%
中東	10,312	6,300	-4,012	-38.9%
その他	13,444	9,500	-3,944	-29.3%
小計(海外計)	123,421	91,600	-31,821	-25.8%
日本	104,527	90,400	-14,127	-13.5%
合計	227,949	182,000	-45,949	-20.2%
海外売上高比率	54.1%	50.3%		



※上の表とグラフにおける19年度Demag事業の取り扱い
 は8月～12月となります。
 ※上のグラフには日本を含んでおりません。
 ※その他は、オセアニア、アフリカ、CISを含んでおります。

コロナ禍影響と今後の見通し

【建設用クレーン地域別需要（対前年同期比）】

地 域	2020年			
	1月-3月	4月-6月	7月-9月	10月-12月
日 本	-7%	-24%	-39%	+13%
中 東	-12%	-28%	-42%	-4%
北 米	-16%	-47%	-47%	-46%
欧 州	-9%	-23%	-7%	-24%
中南米	-15%	-34%	-44%	-12%
アジア	-1%	-26%	-43%	-21%
その他	-16%	+5%	-22%	-1%

第1四半期
 第2四半期
 第3四半期
 第4四半期

※上の表に中国およびクローラクレーンは含んでおりません

今後の見通し（地域別）

【地域別の足許の状況】

地 域	足許の状況
日 本	クレーン稼働率は持ち直しつつある。期末に向けて商談は増加傾向。
米 国	感染拡大継続。需要低迷続く。新政権後の経済政策による反転に期待。
欧 州	欧州全体で感染拡大深刻化。年末にかけての需要は比較的堅調もコロナ前のレベルには遠い。
アジア	感染影響の大きいインドネシアやフィリピン、感染再拡大のタイなどを中心に、需要は低迷。需要回復の兆し未だ見えず。
中東	需要減少傾向継続。足許の原油価格上昇が、経済や需要に与える影響を注視。
その他	オーストラリアは需要減少も、政府インフラ投資増強計画に加え、資源価格の上昇もあり、商談増加傾向。